

令和 7 年度
看護学部 編入学者選抜
試験問題
看護専門 (50 分)

I 注意事項

- 1 ページの脱落や重複、印刷の不鮮明な箇所があった場合には、直ちに手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 2 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 3 受験番号は必ず所定の欄に記入しなさい。
- 4 質問、途中退室などの用件のある場合は、手を挙げて知らせなさい。
- 5 退室時は、問題冊子を閉じること。
- 6 試験に関わるすべての用紙は、持ち帰ることはできません。

II 解答上の注意

- 1 解答は、この冊子に記入しなさい。
- 2 各問題について正解の番号を 1 つ選び、○で囲みなさい。

(正解の番号を1つ選び、数字を○で囲んでください。)

【基礎看護学】

問1

「初期の出会い、同一性の出現、共感、同感、ラポール」というプロセスで対人関係を論じたのはどれか。

1. オレム, D.
2. ペプロウ, E.
3. トラベルビー, J.
4. ヘンダーソン, V.

問2

看護の倫理原則で、「患者に利益をもたらす看護行為」を示しているのはどれか。

1. 自律の原則
2. 無危害の原則
3. 正義の原則
4. 善行の原則

問3

黄色のバイオハザードマークが表示された感染性廃棄物の廃棄容器に入れるのはどれか。

1. 血液や血清の液状物
2. 使用済み手袋
3. 使用済み注射針
4. 血液が付着したガーゼ

問 4

検査について正しいのはどれか。

1. 尿定性は蓄尿で行う
2. 副腎皮質ホルモンの定量は新鮮尿で行う
3. 喀痰採取は、うがい後に行う
4. 凝固検査はヘパリン入り採血管を使う

問 5

ブレードンスケールの項目に含まれないのはどれか。

1. 知覚の認知
2. 湿潤
3. 骨の突出
4. 栄養状態

問 6

0.05 g /10mL と表示された薬液をシリンジポンプで、5 時間で注入する。1 時間あたり注入される薬剤量で正しいのはどれか。

1. 1m g
2. 5m g
3. 10m g
4. 50m g

問 7

経鼻気管内チューブ挿入中の患者、痰の吸引で適切なのはどれか。

1. 挿入時、吸引カテーテルを陰圧にする
2. 吸引カテーテルの挿入の長さは 10cm 程度がよい
3. 吸引圧は 150mmHg 以下が望ましい
4. 吸引後、ネブライザーをする

問 8

SBAR を使った報告で最初に含まれる内容はどれか。

1. 評価
2. 状況
3. 背景
4. 依頼

【成人看護学】

問 1

気道確保の際、頤椎・頤髄損傷が疑われる場合に行う方法はどれか。

1. 頤部後屈頤先挙上法
2. 頭部後屈頤先挙上法
3. 下頤挙上法
4. 下頤向上法

問 2

Moore の提唱した手術後の回復過程の第 2 相（転換期）の生体反応はどれか。

1. 尿量の減少
2. 血糖値の上昇
3. 脂肪組織の修復
4. 腸蠕動運動の回復

問 3

成人期における身体構造・機能の特徴について正しい組み合わせはどれか。

1. 呼吸・循環 — 肺活量は 30 歳を 100% とすると 60 歳で 40% に低下する
2. 認知 — 記銘力は青年後期に入ると著しく低下する
3. 免疫 — 免疫機能は 20 歳前後でピークに達する
4. 代謝・栄養 — 基礎代謝量は男女ともに 20 歳前後でピークに達する

問 4

良質の医療を受ける権利を宣言しているのはどれか。

1. リスボン宣言
2. ニュルンベルク綱領
3. ヘルシンキ宣言
4. ジュネーブ宣言

問 5

フィンクの危機モデルで第 2 段階はどれか。

1. 衝撃
2. 承認
3. 適応
4. 防御的退行

問 6

ハヴィガースト,R.J が提唱する成人期の発達課題はどれか。

1. 経済的に自立する
2. 身体的衰退を自覚する
3. 正・不正の区別がつく
4. 読み、書き、計算ができる

問 7

慢性疾患をもつ成人のセルフケア行動を支える援助で適切な記述はどれか。

1. 行動よりも結果を評価する
2. 行動の習慣化を評価する
3. 医療者が目標を設定する
4. 同病者との相対比較を促す

問 8

自己管理を行う上で自己効力感を高める支援として最も適切なのはどれか。

1. 自己管理の目標はできるだけ高くする
2. 自己管理で改善できた点が少しでもあればそれを評価する
3. 自己管理の方法で不適切な点はそのたびに指摘する
4. 必要な知識をできるだけ多く提供する

問 9

A さん（55 歳、男性）は胃がんの診断で胃全摘術を受けた。術後経過は良好で昨日から食事が開始された。

問 9 - 1

胃の構造と機能について正しいのはどれか。

1. 胃は後腹膜臓器に含まれる
2. 交感神経は胃の蠕動運動を促進する
3. 胃液分泌には「脳相」「胃相」「腸相」の 3 つの相がある
4. 胃には「貯蔵」「攪拌」「消化」「吸収」の 4 つの機能がある

問9-2

Aさんの食事開始後の看護計画として誤っているのはどれか。

1. 食事開始後はゆっくり、少量ずつ摂取するよう促す
2. 食事終了後は、すぐに臥床しないよう促す
3. 食物が吻合部でつかえることがあっても、他に症状がなければ経過観察とする
4. ダンピング症状を予防するため、栄養価の高い食品の摂取を避ける

【老年看護学】

問1

老年期の加齢による変化で誤っているのはどれか。

1. 合併症が起こりやすい
2. 脱水を起こしやすい
3. 免疫力は低下する
4. 典型的な症状や経過を示す

問2

加齢により骨格筋の筋量と筋力が低下することを何というか。

1. サルコペニア
2. ロコモティブシンドローム
3. フレイル
4. ロンベルク兆候

問3

次の文を読み、問いに答えよ

Aさん（87歳，女性）は6年前にアルツハイマー型認知症を発症した。在宅で療養していたが夫が介護で疲れたため施設に入所した。Aさんは自宅では車椅子に移乗してトイレに行き排泄し、尿失禁は認められなかった。入所直後、Aさんは表情が陰しく落ち着きがなく、看護師が声をかけても応じない。自発的にトイレに行きたいという発言はなく、着衣を尿で汚染することが多いためトイレ誘導を行うことにした。

問3－1

看護師の対応で最も適切なのはどれか

1. 大きな声で尿意を尋ねる
2. 就寝中も起こしてトイレに誘導する
3. 施設で決められた時刻にトイレ誘導する
4. 声をかけても応じない場合は少し様子をみてトイレ誘導する

問3－2

入所後2週、Aさんの表情は穏やかになり行動も落ち着くようになった。自発的に車椅子に乗り廊下を移動している。しかし、尿意はあるが尿失禁が続いている。この状況で尿失禁の状態を把握するために行う看護師の対応で適切なのはどれか

1. 排泄動作を全介助する
2. 夜間は下着をオムツに変更する
3. 尿失禁の不快感について質問をする
4. 廊下の移動中に、トイレに行きたいのかを確認する

【小児看護学】

問 1

A ちゃん（4 歳 6 ヶ月、女兒）は、身長 100cm、体重 16 kg である。
カウプ指数による発育栄養状態の評価で正しいのはどれか。

1. 太りすぎ
2. 肥満傾向
3. 標準
4. やせ

問 2

6 歳までを対象とした発達検査で、個人－社会・微細運動－適応・言語・粗大運動の 4 領域から評価するのはどれか。

1. デンバー式
2. 津守式
3. 遠城寺式
4. 新版 K 式

問 3

乳児期を過ぎても残っている可能性のある原始反射はどれか。

1. 手掌把握反射
2. ルーティング反射
3. 緊張性頸反射
4. モロー反射
5. バビンスキー反射

問 4

Aちゃん（3歳6ヶ月、女兒）は、4月から保育所に入所した。1週間前より39℃台の発熱と咳嗽がみられ、扁桃腺炎との診断にて治療を受けていたが、体幹に不定形発疹をみとめ、眼球結膜が充血してきたため、再度受診した。外来受診時、口唇の紅潮・莓舌・頸部リンパ節の腫脹・四肢末端の硬性浮腫がみられ、川崎病と診断され入院となった。入院時の心エコー検査で左冠動脈起始部が3mm程度拡張しており、右冠動脈壁のエコー輝度は亢進していた。入院後、 γ -グロブリン大量療法およびアスピリン療法が開始された。

合併症の冠動脈病変で適切なのはどれか。

1. 心機能が低下する可能性はあるが、生命の危険を及ぼすことはない
2. 超音波・胸部エックス線・心電図による経過観察が必要である
3. 退院後は保育所を休ませ、心肺機能への負荷を最小限にする
4. 塩分制限を行う

【母性看護学】

問 1

25 歳の初産婦、身長 155 cm、非妊時体重 50 kg。妊娠 29 週 0 日で体重 58 kg。本日、妊娠 33 週 0 日。健康診査の結果、体重 60 kg、子宮底長 29 cm、腹囲 85 cm、血圧 120/76mmHg、尿蛋白（－）、尿糖（－）、浮腫（－）。「膝の裏の血管が膨らんで青く浮き出ることがあります。夕方は足がだるくなる日が増えてきました。」と話す。この妊婦に必要なケアはどれか。

1. 下腿を冷罨法するよう伝える
2. 体重を減らすよう伝える
3. 弾性ストッキングの着用をすすめる
4. 安静臥床で過ごすよう伝える

問 2

正常に経過している分娩第 1 期の産婦への対応について、正しいのはどれか。

1. 「ベッド上で安静にして過ごしましょう」
2. 「3～4 時間ごとには排泄をしましょう」
3. 「眠らないようにしましょう」
4. 「水分摂取はひかえましょう」

問 3

成乳と比較した初乳の特徴について、正しいのはどれか。

1. 乳糖が多い
2. ラクトアルブミンが少ない
3. IgA の含有量が多い
4. 粘稠度が低い

問 4

出生前診断について、正しいのはどれか。

1. 胎児の超音波検査は出生前診断の方法には含まれない
2. 遺伝カウンセリングは勧めない
3. 治療が不可能な疾患に関する結果は伝えない
4. 胎児異常を理由とした人工妊娠中絶は行えない

【精神看護学】

問 1

精神障害者が利用可能な地域相談のうちの地域定着支援について正しいのはどれか。

1. 24 時間体制の支援である
2. 外出の際の同行が含まれる
3. 利用者の費用負担は原則 1 割である
4. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の規定によるものである

問 2

我が国における自殺問題とメンタルヘルスについての説明で誤っているのはどれか。

1. 日本の自殺者数は平成 10 年（1998 年）にバブル崩壊とともに 3 万人を超えた
2. 近年、若年層（10-30 代）の死因の第 1 位は男女ともに「自殺」が占めている
3. 自殺総合対策大綱の策定（2007 年）以降、自殺死亡率は欧米の主要国と同等の水準となった
4. 自殺対策基本法（2006 年）によって、自殺対策計画の策定が都道府県に義務付けられた

問 3

修正型電気けいれん療法（m-E C T）を受けて病室に戻った患者で、最も注意しなければならないのはどれか。患者に精神障害以外の持病はない。

1. 精神運動性興奮
2. 痙攣（けいれん）発作
3. 血清カリウム値の上昇
4. 不整脈

問 4

以下の事例を読み、設問に答えなさい。

A さん(19 歳、女性)は、高校でいじめられて以来、自宅に引きこもりがちになった。母親は、A さんについて「中学時代までは成績も普通で、手のかからない子どもだった」と言っている。一人っ子で両親と暮らしている。半年前から頻回の手洗いが止まらなくなり、最近では食事もとらずに手を洗い、手の皮がむけてもやめない。無理に止めると、大声を出してパニックとなり、また一から手洗いを繰り返すという状態となった。心配した母親が付き添って受診したところ、強迫性障害 obsessive-compulsive disorder と診断された。A さんには極度に疲労している様子がみられたことから、本人の同意を得て、その日のうちに任意入院となった。

入院後、A さんと話し合っ 1 日の手洗いの回数を決めたが、毎日その回数を超えて手洗いを続けており、看護師が確認するといつも洗面所にいる。A さんが決めた回数を超えて洗面所で手洗いを続けているときの看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 手洗い以外のことに関心を向けさせるように誘導する
2. 決めた手洗い回数を増やす
3. 手指や病棟は清潔であることを説明する
4. 回数を守れない理由を問う

【在宅看護学】

問1

介護保険制度による要介護認定について、以下1) 2) の問いに答えなさい。

1) 要介護認定の申請先はどれか。

1. 診療所
2. 保健所
3. 市町村
4. 介護保険審査会

2) 要介護認定区分に関する説明で、①から③に入る組み合わせが正しいのはどれか。

要介護認定は、要支援は【 ① 】段階、要介護は【 ② 】段階に区分される。居宅サービスの支給限度基準額が最も高い区分は要介護【 ③ 】である。

- | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|
| 1. | ① | 2 | ② | 5 | ③ | 5 |
| 2. | ① | 2 | ② | 6 | ③ | 1 |
| 3. | ① | 3 | ② | 6 | ③ | 6 |
| 4. | ① | 3 | ② | 5 | ③ | 1 |

問2

Aさん(68歳、男性、要介護4)は、肺がんの終末期のため在宅療養中で、特別訪問看護指示書による訪問看護を受けている。Aさんに提供されている訪問看護について適切なのはどれか。

1. 提供できる頻度は週に4回以上が可能である
2. 提供できる期間は最大2か月である
3. 真皮をこえる褥瘡がある場合は月3回まで交付できる
4. 介護保険が適用される

問3

Aさん(3歳、女兒)は、在宅人工呼吸器を導入して退院することが可能となった。退院に向けて、看護師が行う家族への支援で適切なのはどれか。

1. すみやかに在宅療養に必要な知識と技術を家族に教えていく
2. 入院中から外泊を繰り返し、家族の反応を確認していく
3. 緊急時にも対応できるように、医療的ケアは家族のみでできるようにする
4. できるだけすみやかに在宅療養に必要な知識と技術を家族に教えていく

問4

A 県では地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みを推進している。
以下 1) 2) の問いに答えなさい。

- 1) A 県の総人口と高齢者数は以下の表の通りである。
老年人口割合（高齢化率）はどれか。

表 A 県の総人口と前期および後期高齢者数

項目	人数（人）
総人口	1,000,000
前期高齢者	150,000
後期高齢者	200,000

1. 15.0%
2. 20.0%
3. 35.0%
4. 65.0%

- 2) A 県では互助の生活支援や介護予防活動を推進している。
地域包括ケアシステムにおける支援のあり方で、「互助」を示すのはどれか。

1. 住民ボランティアが要支援者の家のごみを出すこと
2. 住民が定期的に血圧測定すること
3. 要介護者が医療保険サービスを利用すること
4. 高齢者が生活保護を受けること